

LCMIDI Pi v.011

オリジナル「makeSMF」はUDIさんによって作られました。LCMIDI Pi はラズベリーパイで動きます。LCMIDI Pi は LiveCode 7で作っています。

Kenji Kojima January, 2015 index@kenjikojima.com <http://kenjikojima.com>

---

"Read Me" by UDI (makeSMF version 133)

UxPlayMIDI 互換スクリプトです。UxPlayMIDI とほぼ同じ機能を、RuntimeRevolution や MetaCard に提供します。スクリプトは"makeSMFLib"ボタンにあり、スタックスクリプトの openStack ハンドラから insert script しています。

UxPlayMIDI とは

HyperTalk の Play 文を拡張する目的で作った XCMD です。演奏、SMF作成、ミュージックムービー作成の機能があります。現在のところ、HyperCard/OS7-9、SuperCard3-4/OS7-9 で動作確認してます。XCMD なのでマルチプラットフォームには対応していません。また OS X にも未対応です。

楽譜の文法

詳しくは同梱されている pmd2J.doc を参照して下さい。基本は HyperTalk の Play文ですが、複数パートや和音などが使えるよう拡張されています。便宜上この文法を「pmd」と呼んでいます。(某携帯電話のメロディフォーマットとは無関係です)

pmd 文法に則ったスコアを入れたテキストファイルを pmd ファイルと呼びます。便宜上 .pmd の拡張子を付けてますが、テキストファイルとして編集できます。

UxPlayMIDI との相違

pmd文法のうち、バンド(%)とポルタメント(&)を無視します。

パートの扱いが異なります。ドラムパートを含めて16パートまでしか使えません。

UxPlayMIDI は音響(Z)オンで 127 をセットしますが、makeSMF は 96 をセットします。

UxPlayMIDI はペダル(H)オンで 127 をセットしますが、makeSMF は 64 をセットします。

テンポコマンド(T)は第1パートのみ有効です。第2パート以降のテンポコマンドは無視します。

Convert from SMF

SMF (Standart Midi File) を読んで、pmd スコアを作ることが出来ます。基本的に音高とステップタイム(ゲートタイム)しか読みません。まだ不完全でバグも残っていますが、入力補助にご利用下さい。

動作環境

QuickTime 音源が必要です。QuickTimeインストーラで「カスタム」から「ミュージック」をチェックして下さい。SMF を作るだけなら音源は不要です。Windows では音源ボードがあればそれが鳴るようです。Unix 環境については分かりません。

その他

1.3.x の makeSMF/playPmd ハンドラは 1.3 と同じです。1.3.1、1.3.2、1.3.3 は、その他のポタンスクリプトを小変更したものです。

スタック内のスクリプトや、同梱されている曲は、全て著作権を放棄します。勝手にコピーして使って頂いて構いません。また作者はこれらに関するいかなる責務も負えません(^^;)

UDI 2004.02

eudio@chabashira.co.jp

<http://member.nifty.ne.jp/UDI/>